

## 入所施設から地域へ

ゆうあい会 書記 橋本豊

私は授産施設で17年間近く集団生活をしてきました。ある日突然に当時の施設長から通勤寮へ1年でいいから行かないかという話があり、どんどん話が進んでいきましたが、自分だけではなく姉もまったく通勤寮を知らず、障害者福祉課の人に「今まで何をやっていたのか」と言われてしまったという話を聞きました。自分としても授産施設で生活している時に地域で生活していく心構えをしなくてははいけないと今になって思います。

施設の中にいると、いつもと同じ流れの中での生活であり、地域という目標は施設だけではなく本人、親、兄弟も入れて進めていかないとだめではないかと思えます。自分が通勤寮に入寮していた時に、ほとんどの人が「通勤寮へ行け」と言われて入寮した話を聞きました。ぶつぶつと文句を言っていた人もいました。地域生活をするという事をきちんと当事者が理解できるように伝えなくてははいけないのに、先へ先へと地域移行の話ばかりが進んでしまうこと、自分たちがいつも言っているように、自分たちの事を決める時は自分たちを交えて話をして欲しいと言っているのに、かんじんな時はいつも当事者がその輪の中にいないのではないかと思えます。

自分は入所施設ではなく授産施設から地域生活に入っていました。地域に向けて進めるのならあわてないで進めること、単にグループホームやケアホームへ入るだけではなく、地域で生活をするということをしっかり当事者が理解してからでなければいけないと思えます。

自分としては今、地域生活をやっていて良かったと思うようにはなりましたが、現在自分のグループホームにいる仲間たちは施設の中で守られて生活をしている人たちです。こんな形もあってもいいのかなと自分は思います。最後に、この議題は入所施設から地域へという事ですが、その人その人にあった生活もあっていいのではないかと思えます。